

(中高生対象)

第二期京都大学SDGsリーダー育成プログラム
実施概要 (2021年4月12日版)



プログラム変更履歴

4/12

- P.4：10/16と記載していたものを、10/17に変更
- P.4：時間帯などを追記
- P.4：10/30のプログラム（任意参加）を追記
- P.8：現地視察先の候補を追加

第二期京都大学SDGsリーダー育成プログラム

【企画の目的】

持続可能な開発目標（SDGs）が2015年に国連で採択され、2030年まで残り10年となりました。その目標達成の要素の一つとして、社会問題の背景にある課題を整理し、複数の課題の関係性を分析することにより、統合的な解決へとリーチするための方策を導き出す『思考力』や『発想力』などを備え、『システム思考』で考えることのできる人材の育成が必要と考えられます。また、次世代を担う中高生SDGsの目指す社会像を我が事として理解し、学校や地域における実践的な活動を牽引することが、持続可能な社会の実現には不可欠です。そこで、そのためのリーダーを全国各地から公募し、育成することを本企画の主目的としています。加えて、本企画を通してSDGsや社会課題の解決に挑戦しようという人同士のつながりが創出され、時に世代や立場も超えて、互いの想いを交わし、活動状況を共有し合えるコミュニティが形成されることを期待します。※ここでのSDGsとは、国連の提唱する17のゴールにとらわれず、持続可能なコミュニティ及び世界を実現するために必要な「様々な社会課題を複眼的に検証する考え方」とします。

【主催】京都大学 【共催】京都超SDGsコンソーシアム (<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/>)、エコ〜ると京大、京都府立北桑田高校、京都市立京北小中学校 ほか

【協力】第一回リーダーズ研修修了生、京北地域の住民の皆さま（京北SDGsクラブ（仮）メンバー）
本事業は、一部、日本生命財団環境問題研究助成の支援を受けて実施するものです。

【参考】プログラム（予定）※変更になる可能性があります。特に記載のないオンラインプログラムは、15:30-17:30に実施します

	題目	内容	特記事項
6/12	オンライン開講式	オリエンテーション、SDGs問答	
6/26	オンライン交流会	自己分析・自己紹介・SNSでの活動紹介	リーダー分析、心理テスト
7/10	オンラインゼミ1	セミナー+ディスカッション	
7/24	オンラインゼミ2	セミナー+ディスカッション	
8/5,6,7終日	京北合宿	2泊3日（京都+オンライン開催）	
9/11	事例発表会1	受講生による活動発表+意見交換会	SDGs活動をしている人のみ
9/25	事例発表会2	受講生による活動発表+意見交換会	SDGs活動をしている人のみ
10/9	オンラインゼミ3	セミナー+ディスカッション	
10/17午後	現地実習1: Wood rise見学	国立京都国際会館にて開催中の国際学会	※限定数（16日に京北等の訪問も調整可能）
10/30午後	特別セミナー	京大環境シンポ（京都+オンライン）	里山からのグレートリセット ※任意参加
11/13	オンラインゼミ4	セミナー+ディスカッション	
11~12月時間未定	現地実習2	企業の工場・事業所等見学（予定）	任意参加
12/11	オンラインゼミ5	セミナー+ディスカッション	受講生の課題文を参考に講師を検討
12/25	オンラインゼミ6	セミナー+ディスカッション	受講生の課題文を参考に講師を検討
1/8	グループワーク1	SDGsの視点で日本が抱える里山の課題について検討し、自分たちがリーダーとなってこれからの未来にどのような行動を起こすべきかグループで議論し、企画をまとめ、プレゼンテーションしてください。	※中学3年生は任意参加
1/22	グループワーク2		※中学3年生は任意参加
2/12	グループワーク3		※中学3年生は任意参加
2/26	グループワーク4		※中学3年生は任意参加
3/26午後	企画発表、修了式	京都+オンライン開催	

プログラム講師およびメンター（順不同・敬称略）



尾池和夫

京都大学第24代総長
(地震学)



石川淳哉

Social good producer



高部圭司

京都大学名誉教授
(森林科学、樹木細胞学)



釣流まゆみ

セブン&アイ・ホールディングス
執行役員



山崎有香

三洋化成工業（株）総務本部
副本部長／CSR推進部 部長



徳廣剛

京都府立北桑田高等学校
校長



松本和文

京都市立京都京北小中学
校校長



藤田裕之

レジリエント・シティ
京都市統括監

プログラム講師およびメンター（順不同・敬称略）



浅利美鈴

京都大学大学院地球環境学堂
（環境教育、循環型社会）



石見拓

京都大学環境安全保健機構
健康管理部門／附属健康科学センター
（予防医療学分野）



真常仁志

京都大学大学院地球環
境学堂（環境農学）



畑中千紘

京都大学こころの未来研究セ
ンター（臨床心理学）



渡部祐司

大阪大学（広報・アウトリーチ、
高大連携、科学コミュニケーション）
【本企画主担当者】



**京大研究者・京都超SDGsコンソー
シアム・京北地元関係者**



エコ〜るど京大&第一回研修生

京北合宿（予定）

8/5 (木)	10:00	JR京都駅集合→大型バスで移動
	12:00	京北にて受付開始
	13:00	オリエンテーション&SDGsセミナー
	15:00	京北ワークショップ1, 2
	18:00	夕食・入浴
	20:00	ナイトディスカッション
	22:00	就寝
8/6 (金)	7:00	起床
	8:00	朝食
	9:00	京北ワークショップ3, 4
	12:00	昼食
	13:00	グループワーク
	18:00	夕食・入浴
	20:00	ナイトディスカッション
	22:00	就寝
8/7 (土)	7:00	起床
	8:00	朝食
	9:00	成果発表&意見交換
	11:00	講評（集計）・表彰式・クロージング
	12:00	昼食&Farewell Party
	14:00	解散



平安京をはじめ、社寺仏閣の造営時に良質な木材を供給してきた京北地域。その技術は現在も受け継がれています。また、平安から幕末まで、毎年夏には生鮎を朝廷に献上していた歴史があり、豊かな自然、里山の暮らしや文化が保存されています。急速に進歩する現代において、その里山が育み守ってきた「価値」をどのように持続させていくのか、京北を訪問し、SDGsの視点を活かした企画を立案する機会を設けます。

フィールドワーク予定／候補地

- 京都超SDGsコンソーシアムメンバー企業で、先端の技術・システムや、マインドに触れることのできる施設を訪問することができます。
- テーマや関心、お住まいの場所やご都合に合わせて任意でご参加頂けます。コロナの状況や受け入れ施設の都合によって、日程等も調整します。

リコー環境・エネルギー事業センター（御殿場）

「脱炭素社会」や「循環型社会」をキーワードに、産官学連携のオープンイノベーションによる新たな環境事業の創出や、環境に配慮した製品の積極的な導入など、持続可能な社会の実現に向けて取り組むリコーの拠点。



JT生命誌研究館（高槻）

<https://www.brh.co.jp/>

科学の目で生きものに向き合い、「問い」を発掘する場。研究室では様々な生きものを見つめ、そこから生まれた「問い」を元に生きものの歴史を探っています。チョウやイチジクコバチの行動から進化をさぐり、クモやプラナリアから生きものの発生のしくみに迫る…そして研究から見えてきた、生きものつながりの中で人間（ヒト）について考えています。



安田産業グループ（株）大剛 伏見工場（京都）

LEDによる人工光を利用した、水耕栽培システムによる農薬不使用の安心安全野菜を生産しています。

右図：38億年前に生まれた生命体が進化し多様化してきたことを示す「生命誌絵巻」

